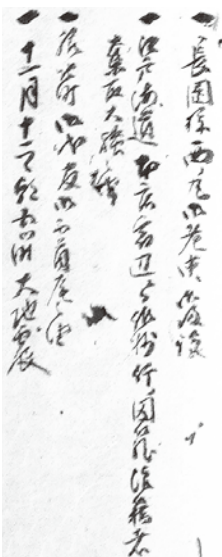
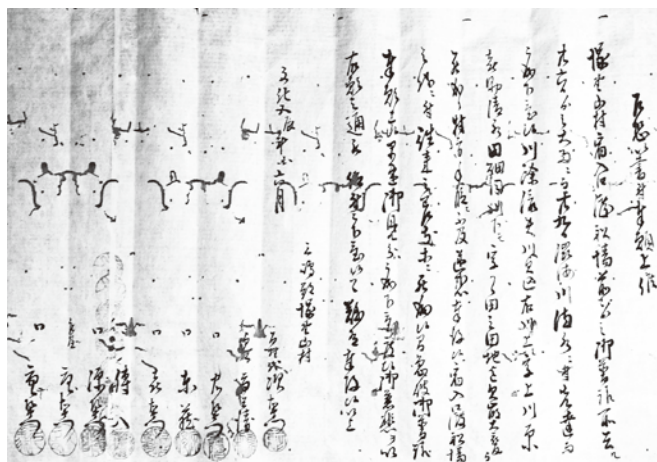


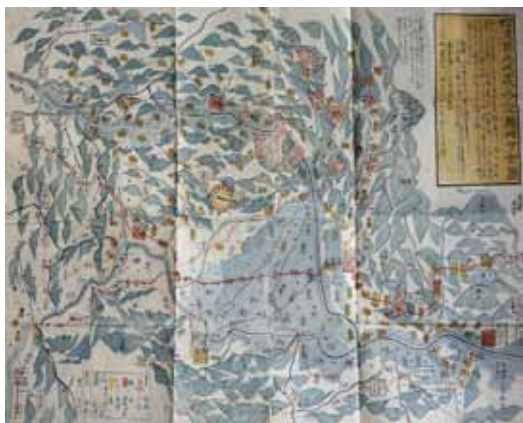
10.1 $\rightarrow$ 11.30

越路の豪農・長谷川家が残した日記類や藩役所への書き上げの中から、災害に関するものをひろい上げ、かの家が記録として残した災害の歴史を紹介します。

渭川漁父 ①



大地·震



地震以戶少而震固頻也

(2)

十月十日、陽明初
○一地震、戸少沙、而雲國領平城
崩、而去者古留、故也。思、幼、幼、子、孫
身中、の、音、友、あり、巾、は、戸、の、也。
水、取、降、不、少、沙、を、以、て、亦、有、古、有、り
る、の、御、親、子、來、に、到、知、し、と、云、々
衆、陳、之、也、一、些、疑、わ、り、い

④

一
地處遠近各處分會
均應各處分會
均應各處分會

⑤ 日下小室大虎

[illegible]

〒949-5123 新潟県長岡市塚野山 773-1 旧長谷川家住宅 TEL：0258-94-2518
展示に関するお問い合わせは、長岡市立科学博物館（0258-32-0546）まで